

ご担当者さま各位

2025 年 6 月
成蹊大学文学部芸術文化行政コース 4 期生
「成蹊アートプロジェクト 2025」

成蹊アートプロジェクト 2025
「はじまりのたび、おわりのたびー友政麻理子作品展ー」
開催のお知らせ



この度、私たち成蹊大学文学部芸術文化行政コース 4 期生は、授業の成果発表として、「はじまりのたび、おわりのたびー友政麻理子作品展ー」を開催いたします。
皆様お誘い合わせのうえ、ご来場いただけますと幸いです。

◆企画展詳細

2025 年 7 月 3 日 [木]～7 月 5 日 [土]

11:00 – 16:00

入場無料

[会場]

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

成蹊大学 11 号館ラーニングコモンズ トーリウム 1-3 階

[主催]

成蹊大学文学部芸術文化行政コース「成蹊アートプロジェクト 2025」

◆企画展概要

本展のタイトルである「はじまりのたび、おわりのたび」にある「たび」という言葉には、「旅」と「～する度に」の2つの意味があります。

友政麻理子は、異国の地を巡る「旅」に出かけます。そして、現地の人々と食事を共にする「度」に、旅の同行者とともに歩を進める「度」に、彼女は「生きること」や「人生の終わり」について思いを巡らせます。

私たちは、友政の作品を通して、生と死は人々の営みが繰り返される「その度に」生まれるものであり、命の循環の一部であることに気づきました。

また、その命の循環に寄せる思いや感じ方は人それぞれであり、人生という「旅」のなかで見える景色も、一人ひとり異なるのではないかと考えるようになりました。

友政は、コミュニケーションの過程を慈しむ美術家／映像作家です。

そのまなざしを通して、私たち一人ひとりの「たび」を、そっと見つめ直す機会となれば幸いです。

◆アーティストプロフィール

友政 麻理子 / トモサ マリコ



美術家・映像作家。初対面の相手と、親子になる努力をするという約束をして食事をする「お父さんと食事」（2000～現在 日本、台北、ブルキナファソ）シリーズなど、コミュニケーションの過程をテーマに、映像作品などを国内外で発表。近年は、自主映画を通じて、まちや人々を繋げる活動「知らない路地の映画祭」（足立区、2015年～現在）や、室内から窓に映像を投影し、まちを映画館にする「窓映画館」を不定期で開催。

◆イベント概要

[トークイベント]

日時 | 7月5日 [土] 15:00～16:30

会場 | 成蹊大学 11号館 1階プレゼンテーションエリア

【申込フォーム】 <https://forms.office.com/r/JxSHTWy6V2>

【申込締め切り】 7月5日 [土] 14:30 まで

- * オンライン[Zoom]配信あり
- * 来場者人数把握のため、事前申し込みへのご協力をお願いします。
- * オンライン配信の視聴を希望される方は、上記の申し込みフォームより必ず事前に申請してください。申込受付後、配信開始までに視聴 URL をお送りします。
- * 右の QR コードからも申込フォームにアクセスできます。
- * 定員に達しなかった場合、当日参加も受け付けます。



ゲストには、本展の招聘作家である友政麻理子、そして成蹊大学の卒業生であり、各国を旅しながら現地の人々との挨拶を交わしてきた「ヴァガボンド」のテンギョー・クラを迎えます。人と人との出会い、関わり合うことについて、一緒に考えてみませんか？

テンギョー・クラ（ヴァカボンド）



2001 年に渡米後、アジア・ヨーロッパ・南米など各地で教師・フォトストーリーテラーとして活動。2017 年からは東京都の文化事業 TURN に交流プログラムアーティストとして参加。以降、福祉やコミュニティの領域と関わりながら、人と人を繋ぐ場づくりを実践。現在も日本や欧州・アフリカ南部諸国などを拠点に、個の属性を越境し文化的社会的揺らぎを生む”カルチャーダイブ“を展開中。

[ポストカードワークショップ]

「もし、あなたが世界を旅する『旅人』だったとしたら、遠く離れた誰かに、どんな手紙を書きますか？」

そんな問いかけから始まる、ポストカードを使ったワークショップを開催します。

このワークショップでは、初めて出会う相手と手紙（ポストカード）を交換し、本展を通じて感じたことや思いを、言葉にして分かち合います。

◆成蹊大学文学部芸術文化行政コース概要

本コースは成蹊大学文学部が 2020 年度より開設した学科横断型のコースです。芸術文化の現場と、それを支える行政の仕組みや仕事について学ぶことができます。また、展覧会の企画・運営などの実践を通して、芸術文化の担い手としての経験を積むことができます。

【芸術文化行政コース Website】 <https://seikei-aaca.wixsite.com/seikeiartproject>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/seikei.artbrilliant>

【X（旧 Twitter）】 https://x.com/Seikei_Art

◆成蹊アートプロジェクト概要

「成蹊アートプロジェクト」は、成蹊大学と武蔵野市行政、市内の市民文化団体や NPO 法人等の官民学が連携し、武蔵野市における共生社会の実現を芸術文化の観点からめざすアートプロジェクトです。芸術文化行政コースの学生が、地域へ赴き、行政職員や市民とコミュニケーションをとりながら、主体的に企画制作を行います。官民学三者間を学生がつなぎ、成蹊大学がハブとなることによって、行政と市民の縁を芸術文化で結ぶことを目指します。

はじまりのたび、おわりのたび

「友政麻理子作品展」



2025年7月3日「木」～5日「土」 11時～16時 入場無料

会場 成蹊大学11号館 ラーニングcommons トーリウム 1～3階「東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 成蹊大学内」

主催 成蹊大学文学部芸術文化行政コース「成蹊アートプロジェクト2025」

協力 成蹊大学高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課 助成 成蹊大学ブリリアントプロジェクト奨励金

・会場には駐車場のご用意がありません。公共交通機関をご利用ください。・バリアフリー対応有（誰でもトイレ・エレベーター）

【トークイベント】

日時 | 7月5日「土」 15時～16時30分

会場 | 成蹊大学11号館1階プレゼンテーションエリア

登壇者 | 友政麻理子、テンギョー・クラ、芸術文化行政コース生

申込フォーム | <https://forms.office.com/r/JxSHTWy6V2>

申込締め切り | 7月5日（土）14時30分まで

*オンライン[Zoom]配信有り

*来場者人数把握のため、事前申し込みへのご協力をお願いします。

*オンライン配信の視聴を希望される方は、上記の申込フォームより必ず事前に申請してください。

申込受付後、配信開始までに視聴URLをお送りします。

*左のQRコードからも申込フォームにアクセスできます。

*定員に達しなかった場合、当日参加も受け付けます。



「はじまりのたび、おわりのたび」に込めた思い

本展のタイトルである「はじまりのたび、おわりのたび」にある「たび」という言葉には、「旅」と「する度」の2つの意味があります。



「は「人生の終わり」について思いを巡らせます。」

私たちは、友政の作品を通して、生と死は人々の営みが繰り返される「その度」に生まれるものであり、命の循環の一部であることに気づきました。

また、その命の循環に寄せる思いや感じ方は人それぞれであり、人生という「旅」のなかで見える景色も、一人ひとり異なるのではないかと考えるようになりました。

友政は、コミュニケーションの過程を慈しむ美術家／映像作家です。そのまなざしを通して、私たち一人ひとりの「たび」を、そつと見つめ直す機会となれば幸いです。



EVENT

トークイベント

ゲストには、本展の招聘作家である友政麻理子、そして成蹊大学の卒業生であり、各国を旅しながら現地の人々との挨拶を交わしてきた「ヴァガボン」のテンギョー・クラを迎えます。

人と人が出会い、関わり合うことについて、一緒に考えてみませんか？



テンギョー・クラ（ヴァガボン）
2001年に渡米後、アジア・ヨーロッパ・南

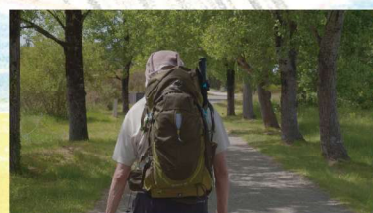
米など各地で教師・フォトストーリーテラーとして活動。2017年からは東京都の文化事業TURNに交流プログラムアーティストとして参加。以降、福祉やコミュニティの領域と関わりながら、人と人を繋ぐ場づくりを実践。現在も日本や欧州・アフリカ南部諸国などを拠点に、個の属性を越境し文化的社会的揺らぎを生む「カルチャーダイブ」を展開中。

ポストカードワークショップ

「もし、あなたが世界を旅する『旅人』だったとしたら、遠く離れた誰かに、どんな手紙を書きますか？」そんな問いかけから始まる、ポストカードを使ったワークショップを開催します。

このワークショップでは、初めて出会う相手と手紙（ポストカード）を交換し、本展を通じて感じたことや思いを、言葉にして分かち合います。

（企画：成蹊大学文学部芸術文化行政コース4期生）



成蹊大学文学部芸術文化行政コース

本コースは成蹊大学文学部が2020年度より開設した学科横断型のコースです。芸術文化の現場と、それを支える行政の仕組みや仕事について学ぶことができます。また、展覧会の企画・運営などの実践を通して、芸術文化の担い手としての経験を積むことができます。

成蹊アートプロジェクト

「成蹊アートプロジェクト」は、成蹊大学と武蔵野市行政、市内の市民文化団体やNPO法人等の官民学が連携し、武蔵野市における共生社会の実現を芸術文化の観点からめざすアートプロジェクトです。

芸術文化行政コースの学生が、地域へ赴き、行政職員や市民とコミュニケーションを取りながら、主体的に企画制作を行います。官民学三者間を学生がつなぎ、成蹊大学がハブとなることによって、行政と市民の縁を芸術文化で結ぶことを目指します。

友政麻理子 — ともまさまりこ

美術家・映像作家。

初対面の相手と、親子になる努力をするという約束をして食事をする「お父さんと食事」（2000年）現在日本、台北、ブルキナファソ）シリーズなど、コミュニケーションの過程をテーマに、映像作品などを国内外で発表。

近年は、自主映画を通して、まちや人々を繋げる活動「知らない



路地の映画祭」（足立区、2015年）現在）や、室内から窓に映像を投影し、まちを映画館にする「窓映画館」を不定期で開催。



- 芸術文化行政コース website | <https://seikei-aaca.wixsite.com/seikeiartproject>
- 芸術文化行政コース Instagram | <https://www.instagram.com/seikei.artbrilliant>
- 芸術文化行政コース X (旧 Twitter) | https://x.com/Seikei_Art

